



わくわくドキドキ一年生 たくさん友達できるかな～

今年、町内の小学校に入学する新入生は208人。新しく始まる学校生活に期待で胸いっぱい！

先生のお話をよく聞いて、明るく元気に友達をたくさんつくってね。

広報

《主な内容》

- ◎平成26年度施政方針
- ◎平成26年度一般会計予算
- ◎町民講座・出前講座について
- ◎4月20日執行予定の町長選挙について

人	計	24,777人
	男	12,011人
□	女	12,766人
	世帯数	7,532世帯

(3月1日現在)

2014
平成26年

4
No.954

国は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、新たな成長戦略により、デフレ脱却と日本経済の再生に向けた政策を積極的に展開しており、その効果は徐々に地方まで広がってきています。町内事業者は、ゆるやかな景気の回復を受け、工場の建設や増築、設備投資などの経営基盤の強化に取り組むとともに、安定的な雇用の創出も図っています。また、農業分野においても、国が示す「攻めの農林水産業」の方針に則り、農地の有効活用と6次産業化の動きが加速化しています。このような経済の流れを捉え、さらなる地域産業の振興をめざして、町独自の支援制度の継続した展開と、国・県が示す支援策との連携を図りながら、地域経済の回復を確かなものとするために、製造業経営革新事業、産業立地促進資金融資事業、園芸作物産地化推進事業などの施策の展開に全力で取り組みます。

高島町の東西の玄関口である太陽館と道の駅は、観光協会が中心となり、関係機関と連携を図り、年間を通じた催事等の開催により、多くの観光客呼び込むとともに、町民の皆様の憩いの施設として親しまれています。一方、施設の老朽化が進み、運営方法に対しても多くの要望をいただいています。町としては、観



寒河江 信 町長

②にぎわいの場づくりからのアプローチ

たかはたブランドについては、町内の食品加工事業者の皆様のご理解とご協力により、町内産の優れた農産物等の原材料を使用し、食の感性にこだわったブランド商品の開発と製造に取り組んでいた。だくとともに、「たかはたぶどうナイター」や「JR仙台駅たかはたフェア」などを通じて強く町内外に販売・PRを展開します。また、「高島町マスコットキャラクター」を活用しながらさらなる販路の拡大と地域ブランドとしての確立をめざすほか、国の支援を受けて前年度策定した戦略事業計画を展開し、ブランド力の強化を図ります。

平成28年開校する高島中学校(仮称)周辺の県道並びに町道の幹線道路ネットワーク化や平成30年度開通予定の東北中央自動車道など、本町の教育・文化環境の変化や社会資本整備の進展を背景に、今後土地利用の形態も大きく変化するものと考えられます。そのため、町では一昨年より都市計画の見直し作業に着手し、関係機関との協議を重ねてきました。しかしながら、都市計画は、農林漁業との健全な調和を図ることが基本理念に掲げられており、農業構造の変化が著しい状況を踏まえ、本町の農業振興地域整備計画の総合的な見直しから着手し、将来的な都市計画の基盤を整備していきます。産業・生活・文化、そして観光産業の活性化を図るための高島駅周辺へのスマートインターチェンジの設置可能性については、引き続き関係機関との協議を進めます。

①農業、中小企業支援からのアプローチ

地方分権が進展し、地方独自の施策が求められています。産業活性化、中心街活性化、ブランドづくり、都市開発など幅広い分野で、自由な発想と新たな事業への挑戦に満ちた創造性あふれる施策を展開します。特に、農業の競争力強化を狙いとする生産調整の廃止を見据えた町農業の将来展望の創出や、チャレンジする経営者を後押しする中小企業体の経営体質強化策が重要です。

【1】たかはたらしい創造性あふれるまちづくり

2 主要施策

平成26年度の施政方針

3月6日から開催された3月定例町議会で、寒河江町長は「平成26年度施政方針」を説明いたしました。これらの施政方針を掲載します。

町政運営の基本方針

1 はじめに

2020年のオリンピック開催都市に「東京」が選ばれたという感動的な知らせは、心躍らせるニュースとしてここ高島の地にも届きました。また、高島で育まれた若い力も全国レベルでその力を発揮し、全国少年少女水泳競技大会・女子飛込みや、国体東京大会・フェンシング成年女子団体サーブルで見事優勝を遂げるなど、相次ぐ朗報が飛び込んできました。オリンピック開催は、日本の成長戦略の媒体となり経済の活性化や観光客増加などの効果をもたらすと予想されています。今後の世界レベルでの若い人たちの活躍とともに、広く日本国民に大きな夢を与える機会となるよう期待をします。

さて、当町を取り巻く環境は、少子高齢社会の進展や中央に比べ遅れの目立つ地方経済の動き、そして町民ニーズの多様化や本格化する地方分権への対応などの課題が重なりあい、町政のかじ取りは大変難しい状況にあります。

また、政府は、伸び続ける介護、福祉、医療等の社会保障関連経費への対応のため、今年4月から消費税率を8%に引き上げることとしましたが、増税分が地方の財源としてどう措置されるかは不透明な状況にあります。

このような中でも、当町では近年、町民の皆様のご理解のもと財政健全化に取り組むとともに、停滞していた行政課題を順次克服してまいりました。高島中学校(仮称)建設に伴う周辺道路の自歩道整備や交差点改良工事などは、国・県の力強い後押しをいただきながら順調に進捗しています。また、安久津八幡神社に伝わる伝統芸能「延年の舞」等の保存伝承を目的に開催されたまほろばの里芸能祭は、歴史と伝統ある文化遺産を町民の皆様に堪能していただくとともに、後継者育成にも大きく貢献いたしました。

平成26年度においても、夢と明るい未来が展望でき、さらには持続的な自治体運営をするために、積極的な町民参画による事業の展開と、地域経済活性化策を推し進めます。

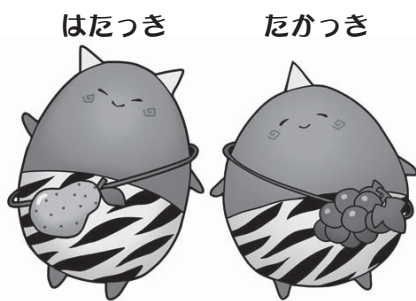
平成26年度は、第5次高島町総合計画の中間年、後期基本計画の初年度であり、総合計画の仕上げに向かう大切な年度です。前期基本計画の施策の評価を十分に行い、今後のまちづくりの方向性に繋げるために、総合計画の「誇り、創造、自立、共生」の基本理念に立ち返り、町の将来を表現する次の4つの政策を展開し、「たかはた」らしい成長と発展を期してまいります。

- (1) たかはたらしい創造性あふれるまちづくり
- (2) 誇り高い人間性を育むまちづくり
- (3) 協働と共生を基本としたまちづくり
- (4) ゆるぎない自立に向けたまちづくり

この4つの政策においては、それぞれの目的別に多角的な手法によって「まちづくり」にアプローチし、具体的な成果と課題解決への歩みを狙うものです。

総合計画「誇り、創造、自立、共生」の基本理念に立ち返り、

“たかはた”らしい成長と発展を推進



▲高島町マスコットキャラクター

④土地利用計画、都市機能形成からのアプローチ

【2】誇り高い人間性を育むまちづくり

誇り高い人間形成は、福祉・教育の分野での取り組みが重要になります。子育て、高齢者・障がい者福祉、教育環境整備、社会教育の充実など、子どもがたくましく育ち、高齢者がいきいきと生活できる施策を展開します。特に、若い世代が住みたくなる新しい子育て制度・定住支援の構築や、地域における超高齢社会を見据えた自助・共助と公助の連携をいかに強化していくかが課題です。

①子育て支援からのアプローチ

安心して子どもを生み育てられる社会をつくりあげること、特に地域全体で子育てができる環境づくりは大変重要なことであり、私たちの重大な責務です。

毎年増加する保育需要に適切に対応するため、引き続き早朝保育や延長保育の充実、土曜保育などの特別保育を実施します。また、子ども・子育て支援法等の平成27年度施行を前に、地域のニーズに応じた多様な子育て支援の充実を目的に「子ども・子育て支援事業計画」を策定します。合わせて、未満児保育が拡充された屋代児童館の駐車場整備を進め、利用者の利便性を高めます。

母親と子どもの心身の健康づくりを推進するため、町単独事業で「1歳お誕生ママ健診事業」および「インフルエンザ予防接種事業」を引き続き実施します。また、少子化対策として「特定不妊治療助成事業」、「風しん予防接種事業」、妊婦健康診査事業への追加助成を継続して実施します。さらに、子どもの成長発達段階に応じた、育児不安を解消するため訪問指導および健診・相談事業の充実

を図ります。

家庭教育分野では、妊娠期・幼児期・小中学校入学期の保護者、高校生、祖父母など年代に合わせた子育て支援講座を開催し、健やかに子どもを生み育てるための家庭教育の推進に取り組みます。さらに、地域住民や学校と連携しながらの「放課後子ども教室」や「学校支援地域本部事業」を引き続き実施し、子どもたちの安全で健やかな居場所づくり・学びの場づくりに取り組みます。

②介護・障がい者・居住対策などの福祉分野からのアプローチ

超高齢化が進展する中、「できる限り住み慣れた地域で、最後まで尊厳を持つて自分らしい生活を送りたい」との思いは、町民共通の願いです。そのためには、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防等が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が必要です。『第3次高島町地域福祉計画・地域福祉活動計画』の推進を図り、町民だれもが安心して生活し続けるため、自助・互助・共助・公助が手を携えて、地域課題に対応した新たな助け合いのしくみづくりや基盤つ



▲地域福祉を考える町民ワークショップの様子

くりを進めます。

高齢者施策においては、「町老人福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」を策定し、今後急増すると言われている認知症への対応策の推進や在宅医療・介護の連携推進、生活支援・介護予防および介護サービスの充実と重点化・効率化を一体的に行う方策等を検討します。

障がい者施策は「町障がい者プラン」の見直しと「町障がい福祉計画」の策定の中で、障がい者の可能性を広げるための環境整備とともに、社会参加・就労支援を進め、障がい者の活躍の機会を拡大することに努めます。

近年特に課題となっている貧困や虐待、ひきこもり、自殺、孤立等の課題に対しては、社会的な要因に加えて複雑で複合的な問題を抱えている家庭が多くなっていることから、総合相談体制のさらなる

活かした地域活性化事業」を継続し、歌舞伎や古典芸能と触れ合う機会を創出し、町民共有の財産である地域に残る身近な文化遺産の保存に向けた取り組みを行います。また、町民の芸術文化活動の発表および鑑賞の場として芸術文化祭を開催するほか、町民が自ら行う事業についても支援を行います。

引き続き指定管理による管理とし、民間活力を活かしたサービス向上に努めます。人材養成に関しては、長年にわたり多面的な交流により成果を上げている「墨田区相互交流事業」を国内交流事業として、オーストラリアシンクグルトンへの「中高生海外派遣事業」を国際交流事業として継続して事業に取り組みます。青年層の人材養成については、国内研修への派遣を引き続き行い、自主的な運営で広がりを見せている「青年人材育成事業」との両輪で、豊かな地域づくりを牽引するリーダーの育成を図ります。

【3】協働と共生を基本としたまちづくり

高島町が持続的に発展するためには、町民・企業やまちづくり団体などが行政とともにまちづくりに参画する必要があります。観光産業醸成、暮らしの安全・安心確保、自然環境への配慮、農業の再生などにおいて、まちづくりの多様な担い手が行政とともに行動をおこし、協働の関係を構築しながら、きめ細かな施策を展開します。さらに、互いを思いやる相互理解の関係性から、「共に生きる」まちづくりを実践します。

①観光産業の醸成からのアプローチ

今年度、県・市町村および地域の観光事業者等がJRグループと連携し、個々の事業者では成し得ない大規模な観光誘客事業として、デスティネーションキャンペーンが全県下で展開されます。当町においても、関係組織が連携を図りオール高島の体制を構築し、豊かで特徴のある観光資源をフル活用することにより、

県内外からの多くの観光客を我が町に呼び込み、たかはたファンのさらなる拡大により、地域の活性化に結び付けます。また、高島町観光協会に依頼し策定された「犬猫やすらぎの里構想」を我が町の新たな観光資源の目玉となるよう、地域および関係機関と連携を図りながら、実際に向けた調査研究を進めます。

また、まほろばの緑道「高島広場」の電車・旧駅舎の保存事業、太陽館周辺の施設の維持整備を実施します。



▲たかはたの「美しい」を巡るサイクリング・ツアーの様子

②暮らしの安全・安心確保からのアプローチ

暮らしの安全・安心を確保するために、まちづくりの多様な担い手が社会情勢の変化に対応しながら、地域の連携や支えあいを基本としつつ、さらに行政が後押しをして、だれもが安全・安心を実感できる地域社会の実現をめざします。

交通安全および防犯対策については、警察や関係団体と連携して、交通安全キャンペーンや防犯イベントの開催、高齢者や子ども等の交通安全教育の強化、社会を明るくする運動や地域住民による子どもたちの見守り支援対策などを推進し、地域に密着した交通安全および防犯活動に努めます。

防犯や防災、環境衛生上の問題を有する放置空き家については、条例に基づく適正な処置を行い、所有者等への指導・

④文化財保存・人材養成からのアプローチ

文化の振興については、「文化遺産を

勧告を強化します。

廃棄物の処理については、資源の有効利用、ごみの減量など環境への負荷が少ないまちづくりをめざし、住民の協働のもと、ごみの発生抑制、再利用、再資源化事業を継続して推進します。新たなリサイクルの取り組みとして、携帯電話やデジタルカメラ等の使用済小型家電を回収し、そこに含まれるレアメタル等の有用金属の再資源化に努めます。

③自然との共生からのアプローチ

すばらしい環境を次世代へ継承していくため、美しい郷土を保全する自然環境保護に力点を置き、環境負荷の低減や持続可能な循環型社会の形成を推進して、環境を守り育てる町づくりに取り組みます。太陽光・太陽熱・薪やペレットストーブに対する助成等、地域エネルギー自給率を高めるため、再生可能エネルギーの



▲屋代地区公民館の太陽光パネル

導入をさらに進めます。また、新たな事業として、役場とその周辺施設に、廃熱利用等によるグリーンコミュニティ推進実証事業と協力し、木質バイオマス利用による地域エネルギーの自立化、地産地消について検証します。省エネおよび地球温暖化対策として、集落等で管理している防犯灯のLED化推進モデル事業を実施し、今後の助成方法等について検討します。さらには、エネルギーの地産地消をめざし、高島病院への太陽光パネル・蓄電池設置事業に取り組むなど、再生可能エネルギー等の積極的な活用を推進します。

④農業再編からのアプローチ

国は、生産調整の見直しで農家が自らの経営判断で作物を作ることができ、農業を実現するため、5年後に減反政策を廃止する方針を打ち出しました。水田農業を中心とする本町にとって、極めて大きな影響が懸念されますが、新たに導入される日本型直接支払制度や水田活用対策の拡充策等の徹底した周知と推進により農業所得の確保を図ります。また、数多くの集落で議論を重ね作成された「人・農地プラン」を基礎にして、青年就農や農地集積対策による力強い農業経営を実現していきます。さらには、これまで培われてきた高島町の大きな特徴である安全・安心な農産物の生産を基本とした、新たな視点に立つて当町の農業を振興します。

②社会資本整備・再編からのアプローチ

公共施設に係る財政負担を見据えた中、施設配置の在り方や維持改修コストの平準化、有効活用などの考え方を定める(仮称)「公共施設の保全・利活用基本指針」を策定します。昨年からの引続き、インフラ・ストックの総点検を実施し、住民の命と暮らしを守るインフラの再構築、生活空間の安全確保に資する事業の展開を実施します。具体的には、橋梁長寿化修繕計画による橋梁補修、道路舗装性状調査による舗装修繕、町営住宅長寿化計画による施工の実施、新たに公園施設長寿化計画の策定などを行います。

道路改良促進事業については、町道馬頭中島線、北川原俣下線、新屋敷線などの幹線道路・生活圏道路も含めた事業の展開と通学道路の安全対策など、地域における総合的な取り組みを集中的に展開します。

上水道については、安全・安心な水を安定的に供給することを目的に、老朽管や遠方監視装置等の更新事業を進め、併せて、4年目となります上和田地区の水道未普及地域解消事業を実施します。下水道については、管渠・施設の適正な維持管理に努めるとともに、合併浄化槽の新設普及を県単独補助事業と合わせて推進します。また、高島中学校(仮称)開校に合わせて上下水道工事を引き続き進めます。



▲総合防災訓練の様子

③事故・災害に強いまちづくりからのアプローチ

昨年7月の集中豪雨において、町災害対策本部として初めて安久津地内の屋代川周辺住民へ避難勧告を発令する一方で、500名を超える消防団員や自主防災組織の方々が昼夜を分かたず活動いただいた結果、幸いにも人的被害を出すことなく被害を最小限に食い止めることができました。しかしながら、避難勧告を発令するまでの情報収集の手段や避難路の設定、災害時要援護者をはじめとした住民への周知方法、土のうや運搬車両といった災害時の資機材調達方法など、多くの反省点と課題点が明らかとなりました。災害に強いまちづくりには、第一に「地域住民との連携」が重要であり昨年度に引き続いて自主防災組織を全集落で設立

【4】ゆるぎない自立に向けたまちづくり

地方が自立して生きていかなければならない時代が到来しています。一定程度の国や県の支援は期待できるものの、地方自らの健全な体力づくりは欠かせません。町民自身が健康を適切に管理し、生活を豊かにする社会資本の長寿命化、災害に強いまちづくり、財政基盤の見直しなど、地域力を強化するために、自立のベースとなるゆるぎない体力づくりを重視した施策を展開します。特に、事業実施時にあらゆる財源を活用するという基本ルールの堅持と、歳出全般にわたる徹底的な見直しが重要です。

①健康づくりからのアプローチ

昨年度から公立高島病院を中心として実施している健診事業については、「健康で住みよい町づくり」の一層の推進をめざすため、各種がん健診、生活習慣病の受診率をいかに向上させていくかが課題となっています。受診率の向上を図り、より効果的な予防医療の充実に努めます。さらに、生活習慣病予防やがんおよび疾病の早期発見・早期治療のため、健診後の健康相談および保健指導を強化します。がん対策については、大腸がん健診は従来どおり40歳から60歳までの5歳刻みの無料クーポンで、5年間の推進期間が終了した子宮がん健診は20歳の女性、乳がん健診は40歳の女性を無料クーポンの対象として健診の受診促進を図るとともに、前立腺がん健診は町単独事業として引き続き50歳、60歳を対象として取り組みます。

次に、公立高島病院の経営健全化については、外来患者および入院患者の増加並びに健診事業への取り組み等により、

平成25年度の病院収益は対前年比で大きく改善し、改革プランの計画数値に近づくことができました。しかしながら、今年改正される消費税への対応に加え、診療報酬改定を控え、病院経営を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。また、医師の招聘につきましましては、平成26年4月から外科医師の招聘が実現しますが、依然として内科医師不足の状況には変わりはなく、今後とも招聘活動に全力を挙げます。このような中で、平成26年度は、持続可能な病院経営の実現と町民の皆様の健康を守るため、予防医療である健診事業の充実と診療体制の強化を図りながら、医療情報の共有化を目指す「地域医療ネットワーク」の活用も含め、地域在宅医療の方向性を町内診療所の先生方と検討します。

今後とも、町民の命と健康を守るという使命のもと、地域包括ケア体制の中核的施設として町内診療所や福祉・介護施設との連携強化を図り、地域に密着した保健医療を提供します。

されるよう推進します。第二に「情報収集」が災害対策本部の初動対応や避難指示等の判断に大きく影響することから、高島町地域防災計画の見直しを行い、情報収集体制の構築と強化を図ります。第三に「準備と訓練」が災害時の被害を最小限に抑えるためには重要であり、消防団員の装備や消防施設の整備と災害救助品の備蓄を進める一方、災害発生時の職員招集訓練など、実践的な防災訓練を実施します。

また、平成27年度に予定されている高島消防署改築に向けて、建設予定地の整備と周辺公共施設の再配置を行い、迅速な出動と機動力向上に向けて置賜広域行政事務組合消防本部と連携を強化します。

④財政基盤の強化からのアプローチ

毎年策定している「町財政計画」を踏まえ、町財政の安定的な運営に必要な財源をいかに確保するかが最大の課題

となります。特に地方交付税は、国では

総額を適切に確保するとしていますが、配分算定の際、非合併市町村の減額が議論に上ったほか、国と歩調を合わせた歳出抑制が要請されるなど、樂觀はできない状況です。そのため、平成25年度の補正予算を活用し、「がんばる地域交付金」事業を積極的に取り組むほか、土地・畜産調査事業などを展開し、適正な課税客体の把握と町税収入の確保に努めます。

また、中学校建設等の大型公共事業や老朽化する社会インフラの長寿命化に取り組むことにより、財政健全化数値が悪化することは否めません。現在積み増ししている基金を有効活用するとともに、収支ギャップが生じることのないよう、「町5カ年経営計画」をはじめとする経営に関する個別計画を、厳格に進行管理するなど、継続的な行財政改革に取り組めます。

3 結びにあたって

1月の日銀地域経済報告では、全国の全地域で「回復」の表現が盛り込まれ、ようやく地方経済にも景気回復の波が広がっています。国が示した「好循環実現のための経済対策」を受け、地方でも様々なデフレ脱却と経済再生への取り組みが展開されます。本町における施策も高島中学校(仮称)整備が大詰めを迎え、過去最大級の一般会計予算規模となりました。本町産業の活力を発揮させ、若者や高齢者等へ支援するとともに、安心・安全な地域社会づくりを展開したいと考えています。あらためて、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

一般会計予算額 121億3千万円

昨年度比
15億2千万円の増額

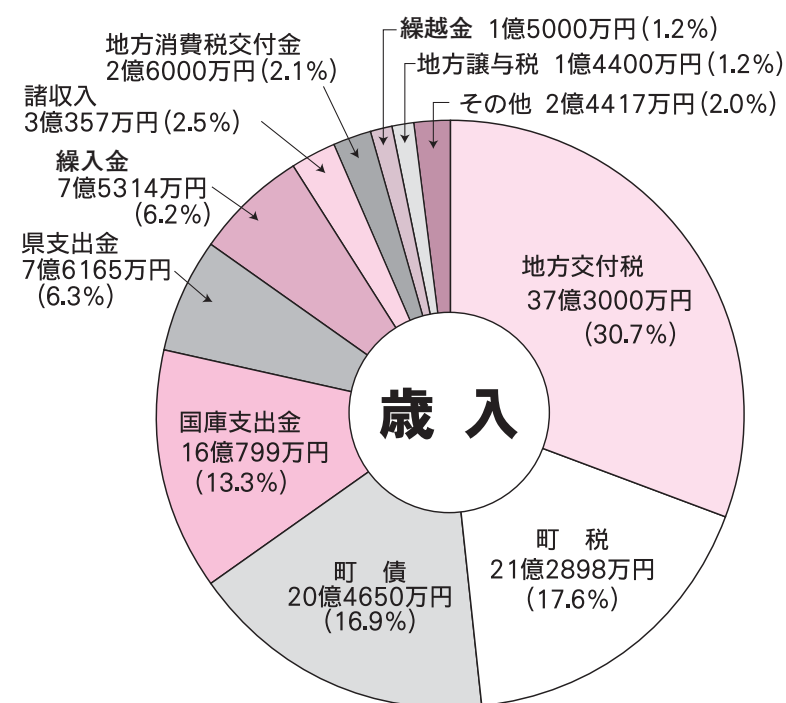
平成26年度高島町一般会計予算は、121億3千万円で、対前年度比で15億2千万円、14.3%の増額としました。

歳入のうち、町税、地方交付税および臨時財政対策債等の一般財源は66億7,958万円で、前年度比マイナス4,038万円、マイナス0.6%を見込みました。町税は、固定資産税などの増額を見込み、地方交付税は、国の地方財政計画によりマイナス6千万円を見込みました。

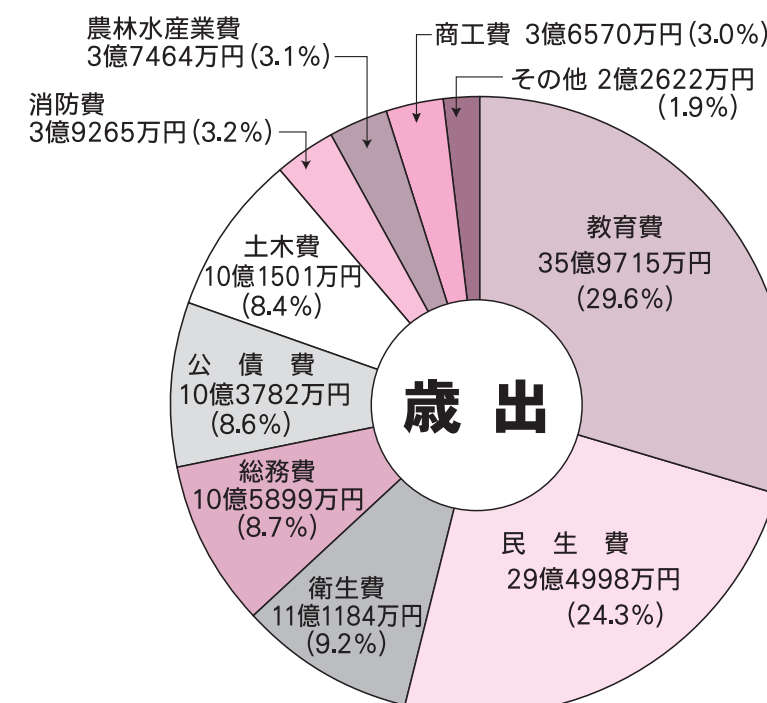
主な事業としては、統合中学校整備事業、町道竹森中里線整備事業、障がい者総合支援事業、住民保健事業、高齢者いきいき活動支援事業、小中学生医療費助成事業、ごみゼロモデル事業などを予算化し、町民の福祉および生活環境の向上に努める予算としました。

一般会計と特別会計、企業会計の予算総額は224億9,505万円で、一般会計や介護保険会計の増額などにより、前年度より19億3,491万円、9.4%の増額としました。

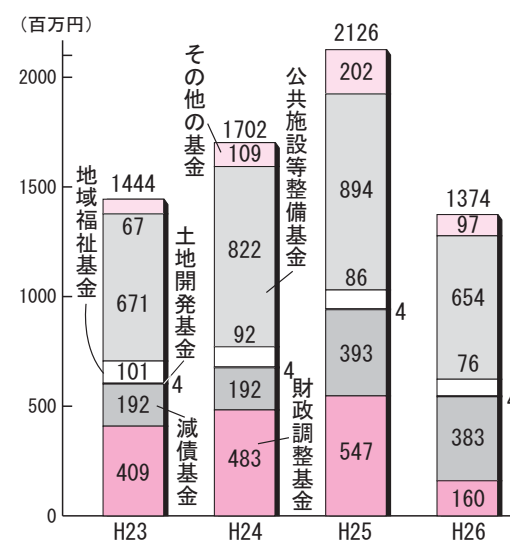
歳入 町民一人当たりの町税額
85,926円



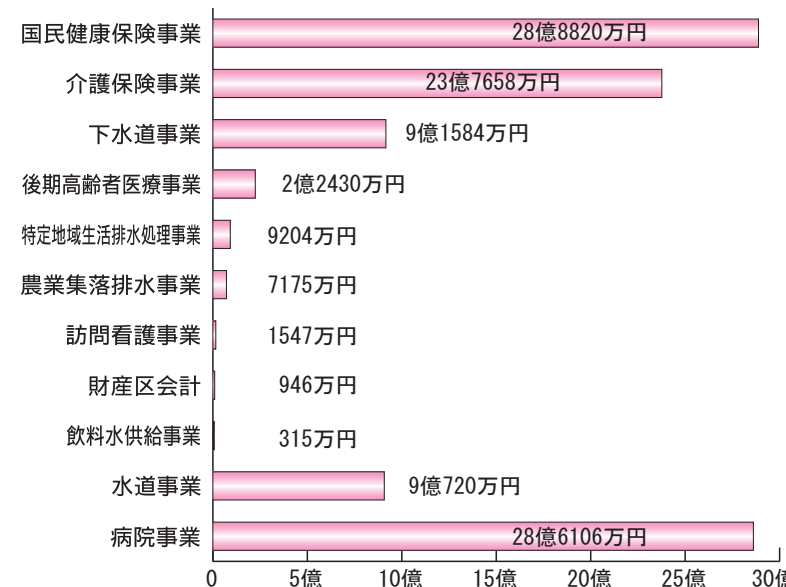
歳出 町民一人当たりに使われるお金
489,567円



一般会計の基金(貯金)の状況 (年度末残高)



特別会計・企業会計予算



町の人口 24,777 人 (平成26年 3 月 1 日現在の住基登録者)

歳出の性質別分類 (一般会計)

区分	金額	構成比
義務的経費	人件費 18億7975万円	15.5 %
	扶助費 15億642万円	12.4 %
	公債費 10億3782万円	8.6 %
投資的経費	普通建設事業費 30億8736万円	25.4 %
	災害復旧事業費 22万円	0.0 %
その他	物件費 11億8280万円	9.8 %
	維持補修費 2億7521万円	2.3 %
	補助費など 12億5829万円	10.4 %
	積立金 57万円	0.0 %
	投資及び出資金 2億903万円	1.7 %
	貸付金 1億9225万円	1.6 %
	繰出金 14億8528万円	12.2 %
	予備費 1500万円	0.1 %
		38.1 %

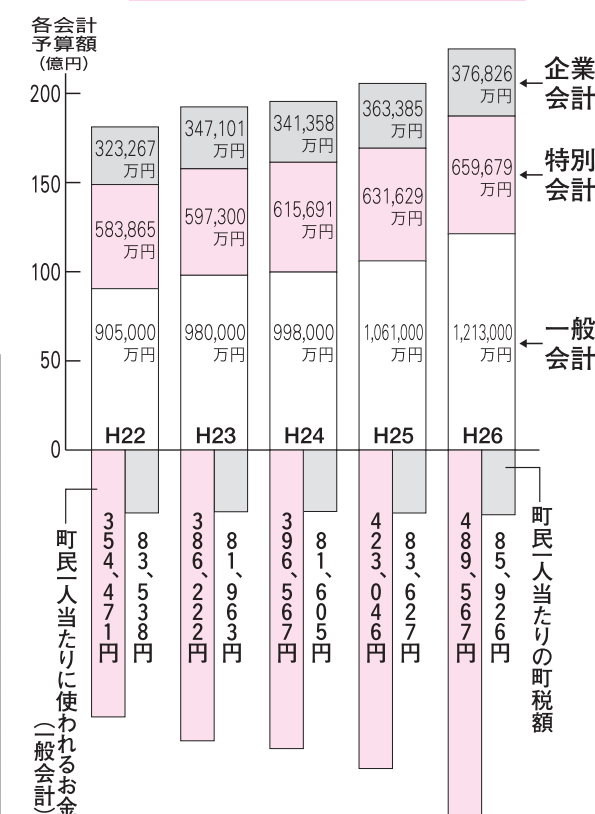
一般会計の主な事業

統合中学校整備事業 25億4,751万円
道路新設改良事業 1億5,820万円
戦略的園芸産地拡大支援事業 ... 3,928万円
御入水団地改修事業 2,920万円
役場車庫建て替え事業 3,308万円
住宅建設支援等補助事業 2,120万円
製造業経営革新事業補助金 2,000万円

雪対策総合交付金 180万円
高齢者いきいき活動支援事業 ... 1,991万円
放課後児童クラブ推進事業 2,377万円
保育料軽減事業 960万円
小中学生医療費助成事業 ... 2億140万円
母子保健事業 2,653万円
(乳幼児・妊婦健診事業等)
各種検診等住民保健事業 4,929万円
ごみゼロモデル事業 802万円
(生ごみ資源化等)
緊急雇用創出事業 2,035万円
農地維持・資源向上支払交付金事業... 1,745万円
森林病虫害防除対策事業 228万円
デマンド交通運行事業 840万円
クラシックカーレビューINたかはた 70万円
げんきな高島イベント開催事業 ... 280万円
私立幼稚園就園奨励費 1,830万円
学校給食運搬事業 997万円
人材養成事業 310万円
(中高生海外派遣、国内派遣事業等)

注) 万円未満～四捨五入

予算と一人当たりの推移



たかはた町民講座＆高畠町まちづくり出前講座

高畠町では、町民と行政の協働による町づくりをめざして、町職員が地域に出向き行う「まちづくり出前講座」と、町民自身がボランティアで講師を務める「たかはた町民講座」を開設しています。

対象者は町内小中高生および町内に在住・勤務している５人以上で構成された団体・グループです。（町民講座は３人以上）
メニュー表から講座を選んでいただくほか、メニューにない内容のご相談もお受けしております。お気軽にお問い合わせください。

【たかはた町民講座】

多彩な趣味や特技、知識、技能を持つ町民の方々が、日ごろの学習成果を活かして自ら講師となり、広く生涯学習の「きっかけ」づくりの場を提供します。



No.	講 座 名	講師氏名	講座の内容
1	万葉集を読む	富 樫 徹	万葉集の読解と鑑賞
2	楽々俳句講座	荒 井 俊 二	初歩・基礎から俳句一般 ※「花鳥」俳句会は毎月第一土曜日開催、一人でも見学可
3	やさしい茶道	渡 部 雅 子	茶道教室（裏千家） 小中学生も可 月～金のみ可
4	煎茶道 方円流 一緒に楽しく お茶とおしゃべり	梅 津 典 子	煎茶道を通してお茶の美味しい入れ方を教えます。 平日の10時～19時の時間帯で。幼稚園等でも開催可
5	和服・聞く・着る講座	市 川 長 子	着物・浴衣着付け実技指導、着物の知識について（お話）
6	生け花教室(池坊)	中 村 湖 月	美しい花に手を加えて更に美しく活ける楽しさ、楽しくなる花の活け方 10時～21時の時間帯で。小学生でも可
7	人生楽しく・わくわく講座 子育て、自分育ちの楽しいお話	菊 地 剛 謙	面白くてためになる話 幼児でも可
8	くらし・いきいき	平 謙 雄	詩吟（漢詩、和歌、俳句、新体詩）青少年健全育成（幼～青年、保護者）や高齢者の生き方などのお話
9	三味線に合わせて唄う	藤 本 繁 一	三味線、弾き語りによる懐メロ・民謡等の実演・舞台活動
10	絵画教室	原 田 春 二	絵画（洋画～水彩・油絵・多色版画）、彫塑（レリーフなど）
11	楽しい生活習慣病予防講座	高 梨 和 雄	生活習慣病を防ぐ食事と健康づくり運動・里山散策（野草、薬草、木の実採取ほか）
12	むか～し、あったけど	まほろば語り部の会	むかし語り 年齢や季節に合わせた語りをします
13	火にかけている時間をぐんと短縮できる 鍋帽子®を作って、使ってエコクッキング	米 沢 友 の 会 高 畠 支 部	鍋帽子®の製作、鍋帽子®を使った保温調理の実習
14	げんきかい講座	げ ん き か い	健康づくりのための楽しい軽運動やストレッチなど 9時～16時の時間帯で
15	やさしい陶芸	陶 芸 同 好 会	やさしい焼き物づくり体験教室
16	社交ダンス	佐 藤 久 一	音楽に合わせて楽しく踊る社交ダンス

～講座の利用にあたって～

- ◆開催時間・会場／基本的には平日休日を問わず、9時から21時までの2時間以内であれば対応できます。
開催場所は町内に限ります。会場の手配、準備、開催の告知等は受講申込者が行ってください。
- ◆受講料／講師料は無料ですが、材料費等が生じる場合は参加者負担となります。
※詳細および不明な点は下記までお問い合わせください。

【申込み方法】

- ◇講座開催日の14日前までに、所定の申込書により社会教育課までお申し込みください。
（申込用紙は中央公民館・各地区公民館・生涯学習館で配布しています。）
▶問合せ先／高畠町教育委員会 社会教育課 社会教育係 ☎(52) 4 4 8 7 Fax(52) 5 0 4 3

【まちづくり出前講座】

町の事業や施策などについて、業務を担当する町職員が地域に出向き講師を務めます。

No.	講 座 名	担 当 課
1	自主防災組織の活動	総 務 課
2	防災(災害)に対する心構え ～被害を最小限に抑えるために～	総 務 課
3	住宅用火災警報機設置と防火の備え	総 務 課
4	町のおさいふ事情	企画財政課
5	町の行財政改革	企画財政課
6	これからの町づくり～総合計画～	企画財政課
7	地縁団体のつくり方	企画財政課
8	NPO って、なあに？	企画財政課
9	町税のしくみ	税 務 課
10	国民健康保険税と 後期高齢者医療保険料のしくみ	税 務 課
11	国民健康保険のしくみ ～国保のしくみと給付内容～	町 民 課
12	後期高齢者医療制度について	町 民 課
13	知って得する国民年金	町 民 課
14	ご存知ですか、ジェネリック医薬品 ～医療費の節約術～	町 民 課
15	「e c o」ってなんだろう？ ～環境にやさしい人になろう～	生活環境課
16	おひさまと森のエネルギーを利用しよう ～太陽光発電はもとがとれるか～	生活環境課
17	ごみ分別に迷ったら	生活環境課
18	快適！楽しい節約術	生活環境課
19	エコドライブ（試乗もできる） ～安全でエコな運転方法～	生活環境課
20	包む、結ぶ おしゃれな風呂敷結び	生活環境課
21	ダンボールで生ごみ処理！？	生活環境課
22	食品を選ぶポイントはここ！！	生活環境課
23	上手な食品の保存方法	生活環境課
24	大掃除はおまかせ	生活環境課
25	環境にやさしい事業所になろう	生活環境課
26	介護保健制度について	福 祉 課
27	広げよう 地域の支えあい ～住みなれた地域で安心して暮らすために～	福 祉 課
28	防災から地域の福祉を考える ～防災福祉マップを作ってみよう～	福 祉 課
29	みんなで防ごう！児童虐待	福 祉 課
30	子どものいろいろな手当	福 祉 課
31	障がい者を支える福祉サービス	福 祉 課
32	こころの健康づくり ～ストレスの対処法やうつ病の予防について～	福 祉 課
33	認知症を理解する	福 祉 課
34	認知症サポーター養成講座	福 祉 課
35	高齢者虐待を知っていますか？	福 祉 課
36	介護予防で健康寿命をのばしましょう	福 祉 課
37	はじめよう身体づくり ～健康づくりのための運動～	健康推進課

No.	講 座 名	担 当 課
38	メタボリックシンドロームを予防しよう	健康推進課
39	何をどれだけ食べればいいの？	健康推進課
40	歯と歯ぐきの健康づくり	健康推進課
41	知って実行！乳がん自己検診法	健康推進課
42	もっと知りたい たばこの話	健康推進課
43	子どもの感染症予防と予防接種	健康推進課
44	農業の振興策について	産業経済課
45	森林を知ろう ～森の恵み、木との関わり～	産業経済課
46	まちなか歩きのすすめ	産業経済課
47	高畠町の産業のようす	産業経済課
48	観光によるまちづくり	産業経済課
49	たかはたブランドって何？	産業経済課
50	デマンド交通で出かけよう！	産業経済課
51	農地について	農業委員会
52	農業者年金のすべて	農業委員会
53	高畠町の都市計画	建 設 課
54	景観づくりのすすめ	建 設 課
55	道路や河川のはなし	建 設 課
56	地籍調査って何？	建 設 課
57	耐震診断・改修のすすめ	建 設 課
58	生活排水対策のはなし	上下水道課
59	水道のしくみ	上下水道課
60	子育て支援と保育サービス	教育総務課
61	高畠町の文化財	社会教育課
62	高畠町の歴史	社会教育課
63	図書館はこんなところ	社会教育課
64	公民館ア・ラ・カ・ル・ト ～社会教育事業のあれこれ～	社会教育課
65	自治公民館の活用法	社会教育課
66	地域における生涯スポーツの振興	社会教育課
67	家庭教育は大事です ～高畠町の家庭教育支援事業について～	社会教育課
68	復活！地域のちから ～地域づくりの主役はあなたです～	社会教育課
69	青少年の健全育成 ～次代の担い手をどう育てていくか～	社会教育課
70	選挙について	選挙管理委員会
71	関心ありませんか？身近な議会のこと	議会事務局
72	健康ですごすために	公立高畠病院
73	上手なお風呂の入り方	公立高畠病院

広報たかはた 文芸

年間賞の発表

思いあふれる文芸の数々

俳句

荒井俊 二・選

平成25年度の広報たかはた文芸欄に掲載された作品は俳句129点、短歌106点、川柳118点、詩15点の合計368点でした。その中から最高賞と佳作を選者の方に選定していただきました。表彰式は6月1日(日)に開催する「投稿者と選者のつどい」の中で行います。

最高賞

達筆の師の短冊の涼しけれ
一本柳 中手保子(10月)
《選者のことば》
人事句にしてまた自然な季節感が漂う。「の」を重ねた叙法に作者の力量を感じる。

佳作

まほろばやどちちを見ても山笑ふ
深 沼 寒河江孝子(6月)
葡萄、松茸、そしてフルーッライン、豊かな米どころの里まほろば。魅けて春を告げる四囲の山々。

おとなりの風吹けばくる鯉幟
鎌野目 中野 博(8月)
隣り同志の親しさ、ひるがえる鯉幟をにこやかに見上げる大らかな作者。

かも鹿の突如現はる草紅葉
上和田 鏡たか子(12月)
又も作物荒しか、地域の日常生活での一齣、「突如」の一語に鮮やかな臨場感がわく。

木枯や窓辺をたたく亡母の声
馬 頭 渡部美代子(3月)
幻聴としりつつも夜半の木枯。母を亡くした悲しみの深さを耐える作者である。

観音堂上る一步の淑気かな
大町三 大塚喜久能(3月)
初詣の清浄な思いに堂宇の磴を踏む作者。中七・下五と表現が見事。

短歌

最高賞

遠き日の「二十四の瞳」に涙せし
時代変われど悲しみ新た
根 岸 金子協子(10月)
《選者のことば》
時代は変わっても悲しみは新しく生まれる。過ぎし日を偲べた良い歌です。

佳作

孫と行くみちのくの旅災害に
桜負けじと今咲き誇る
筋 佐藤ナヲ子(6月)
自然のままに、力強く咲く桜の花を詠んだ良い歌です。

中川寛 二・選
恵雨長期に降りて為らず雨
空を仰げぬひまわり悲し
夏 茂 小浅 昭(10月)
良い雨も長く降り続けると、要らない雨となってしまう。ひまわりの悲しみが伝わる良い歌です。

雨あがり山の湯に飛ぶオニヤマの
トンボ見かける風光る朝
上和田 佐藤律子(10月)
雨上がりの朝の景色が見えるような、自然を見つめる良い歌です。

戦没者追悼式の終戦日
英霊の妻に涙あふるる
福 沢 山村和子(10月)
戦争で亡くなった人のことを考えると涙が止まない。亡き夫に涙をおくる良い歌です。

詩

最高賞

「石ころ」
鎌野目 小坂きよの(7月)
どっさりとおった雪も消え庭にはじやりがところどころ見えてきたと

橘 朱果・選

思ったら二、三日の強風と雨に
たたかれ
僅かの雪塊がのこるのみに
とりわけ大きな庭石の隅に形の
いい石ころが数個あった
つるつとしたまるい石、ひよろ
長いべったらい石

川柳

高橋 勝柳子・選

最高賞

大津波風化させまいいつまでも
「風」 一本柳 金子静香
《選者のことば》
我が国日本は地震多発国であり、また再発は忘れた頃に来る事を忘れてはならないのです。未曾有の大震災から三年経過しましたが後始末がまだまだ残っている現状。いつまでも風化させないで日頃の備えが大切です。急げ予防準備を。

佳作

家中に笑顔と呼ぶ曾孫の初春
「家」 上和田 大浦秀一
平均寿命が食住医療の効果で世界一の日本。孫も可愛いのが曾孫はなおさら可愛いものです。ね
アスファルト押し上げ芽だすと根性
「芽」 亀岡 大槻京子
大自然の強大さにただ驚かされる
ことができます。この様に

根の發揮する力もたいせつでは
なからうか。

高砂や華燭の典は日本の美
「美」 金原 菅野信一
美の代表するものに高砂の華燭の典があります。そして子を育み親の恩もひとしお感ずるかも。

家計簿はわが家の暮し良くわかり
「家」 二井宿 御田俊坊
家計簿記帳は毎日の習性で大事に続けることが大切です。

友情で大雪仕舞ありがとう
「友情」 尾代山崎 佐藤元一
老化現象で腕が痛くなり、それがなかなか治らないものです。その際の友情で本当に大雪仕舞アリガトウアリガトウ。

はじめきをした模様の石、色も
さまざまだ
しかもみな角がなく、思わず手
に取ってみる
雪の重みで少しめりこんでいた
すっかり忘れていたが、主人が
元気なころ
子供達と孫と皆んなで海に行っ
て、きれいな石を拾って来ては
のりの空瓶に入れて飾ってい
た、十年も前の事である
去年の秋にかたづけのつもりで
庭石の隅にあげたのを思い出した
石ころはあの頃とぜんぜん変わ
りなく
豪雪の下にじっと春を待ってい
たのだろう
思い出がいっぱい詰まった石こ
ろは、私だけが知っている宝石
の様に見えた

《選者のことば》
春先、雪が消えた庭からあら
われた石、それは子供、孫達と
海水浴に行つて拾ってきた石で
あった、思い出の石。「つるつ
としたまるい石、ひよろ長い
べったらい石、はじめきをし
た模様の石」と形状の表現が個

○日時／平成26年6月1日(日)

午前10時から

○場所／町総合交流プラザ

◆問合せ先／町企画財政課
「文芸欄」 ☎524476

性的、やはり「私だけが知って
いる宝石」なのかも知れない。

佳作

「馬のこと」
上平柳 伊藤喜代司(2月)
時々、夢を見る
戦争中、獣医として馬の世話、
病気怪我の治療に明け暮れた
日々。
目の前で、役に立たなくなった
馬が何頭も死んでいった。
つらい、悲しい、非情な心の中の
消えない思い……

人のため、国のため、何も言えず
死んでいった馬達。
七ヶ宿から鎌野目に来て
蹄鉄の仕事で、また馬とのかか
わりができた
畑、田んぼで、人のために働き続
けた馬達。
今は、もう数少ない。

遠い昔のことの様だ。
口には出さないが、賢い馬達に
心から敬意を表したい。
今年の千支午年のせい、歳の
せい、馬を思う。

「馬が合う」という位、馬は
人の心をよく悟る。戦死した軍
馬を悼む気持ちは悲痛である。

「祐ちゃんの泪」
相 森 後藤ちよゑ(2月)
十年一昔と言うから、これは

昔々その昔の話。祐ちゃんは私
より二級上でした。私を妹のよ
うにかわいがってくれ、下校の
時はいつも二人で通った。私が
掃除の日も校門で待っててくれ
さ行くべと言って歩き出す。毎
日とりとめのない友達の話、先
生の話、家族の話など結構楽し
かった。いつか内緒よと言って
映画を見て来た話をした。あんな
映画ははじめて見たなと言っ
て、映画の内容を話す祐ちゃん
の瞳が生きたと輝いていた。
その頃の映画は東宝と遊楽館し
かなかった。だが学生は父兄同
伴でなければ見ることは禁じら
れていた。祐ちゃんは三月末に
本科を卒業、四月からの専攻科
へ入る迄は学生でないからと勝
手に理屈をつけて見て来たと言
う。そのスリルと映画そのもの
の素晴らしさに感動した少女の
胸の鼓動が聞こえるような気が
した。一ヶ月に一辺位、風邪引い
たのよと言って海老茶の袴をは
き、首に白い包帯を巻き、紫銘仙
の着物を着て、私に会うと弱々
しく笑うこの人にこんな情熱が
あったのかと目を瞠ったもの
だった。

戦時下の女学校時代の話。学
校の規則を破つてみた映画、ど
んな時代にも青春が輝いている。

詩

橘果 選

一、郷土を愛し若い力を伸ばし、希望のあるまちをつくります。

雪片付け
一本柳 正田清子
屋根が暖まり、雪が落ちる
スコップとダンブで
雪を片付ける
流れる水に雪を投げ
汗と共にめどがつく
成果が見える
家を守り、仕事に喜びがある
年々体力がつく
「なまけるな」心の中から
何か湧き出る
休憩に本を読む
なんと幸せなことだろう
「宮尊徳翁」の物語を
三十余年振りに読む
感動がフツフツと沸く
考え方を教えてくれる
働きながらの独学の学問
その姿を真似てみよう
一生懸命頑張ると
時間が大切に思える
百科事典の完璧な読みもの
合理的でおもしろい
夢もひろがる
（評）作者の前向きで元氣な姿を
彷彿とイメージさせる。年々体
力がつく」とは驚き。

小さくて青々と輝いている
私にはようと声をかけている
ニコニコ どんぐりの葉
（評）童謡のような、かわいらしい詩。小さいものは何でもかわいらしい。不思議ですね。
老父への感謝
深沼 佐藤 順
突然の脳出血、手術を受けたものの、身動きのできない状態、左半身が麻痺してしまったのだ。そして入院、老父は毎日面会に来てくれた。老父の顔を見ると嬉しかったが、帰ると悲しくて泣いた。その後リハビリを受けることになったが、全く手足の動かないリハビリはつらかった。センターにも老父は毎日来て、娘のリハビリを見つめていた。老父はどんな気持ちで見てくれたのだろうか。そんな老父に家に連れて行って欲しいと泣きながら何度も頼んだ。その都度老父は困惑した。センターにも六カ月入所中、老父は毎日面会に来てくれた。本来なら立場が逆なのだと思うと情けなく悔しくて、また涙が流れた。そして今この施設でスタッフの皆さまの手厚い介護を受けている。九十一歳になる老父がここにも毎日面会に来てくれている。何の親孝行もせず心配ばかりかけてきた。小さい時から父が好きだった。農業一筋に生き晴耕雨

読の生活をしてきた父を尊敬している。今は筆舌に尽せない程感謝している。
（評）五十代で脳出血、半身麻痺で施設生活を余儀なくされている。毎日欠かさず面会に来てくれる老父への気持ちが切ない。
泣きたい時
東京都 高島市 佐野 高恵
くやしくてくやしくて涙が流れて桜の花びらのようにはらはらと泣けてきて泣けてきて
桜も散った 私のように
はらはらと はらはらと泣けてきて桜も散った
疲れて泣きたい時は
どうしたらいいのでしょう
思いっきり田んぼに
自転車ころがして
思い切って泣こう
田んぼの稲たちが目にしみる
私も自転車も泣いているよ
（評）作者は何が悲しいのだろう。若い時はこんな時もある。思い切って泣くがよい。「花びらがはらはら」という比喻。自転車の擬人化等大変効果的だ。

文芸

〔次回〆切り日〕
詩・川柳とも
平成26年4月30日(水)まで

川柳

高橋 勝柳子

選「願」

次回課題「結」

秀 御破算で願いましては夢の中
祈願する生きることのみ唯一つ
宝くじ心で願ひ並ぶ人
雛作り襟を正せと願かける
願を掛け絶対受かる自信付け
願望も夢破れても今に生き
新しき枕になじむ今朝の願い
オリンピック悲願のメダルあと一步
願い事叶うと信じ天仰ぐ
節分の福を願って豆飛ばす
願書出す若さの頃に戻りたや
より早き復興願ひ豆をまく
元日に願ひをかけて文殊堂
受験生合格祈願神頼み
真央ちゃんの願った金より光る涙
夢のせて合格祈願そろいぶみ
一生のお願いを聞く二度三度
満願の暁神も化粧する
汚染の地きれいな空に成る様に
ソチの地に悲願のメダル輝けり
願掛ける日の丸背負い立ち向かう
早や三年被災者元の生活を
天寿生き妻と五輪を東京で
月に陽に願ひは一つ世の平和

※川柳の投稿は、1人2句ずつとしております。

▼作品の送り先は：〒992-0392 大字高島436
町企画財政課「文芸欄」まで。
川柳、俳句、短歌部門は部門を明記のうえハガキ1枚に。
詩部門については便箋等に記入し、封書にてお送りください。
住所・氏名・電話番号を忘れずにお書きください。
なお、川柳は1人2句ずつとします。

高島町長選挙の投票日は4月20日(日)です

任期満了に伴う高島町長選挙は、4月15日(火)に告示され、4月20日(日)に投票が行われます。
町政を任せる代表者を選ぶにあたっては、義理や人情にとらわれることなく、候補者の主張や考えなどを検討し、正しい良識と自覚をもって信頼できる人を選びましょう。
また、住みよい町をつくるため、棄権はせず、主権者としての責任を果たしましょう。

●高島町長選挙の概要●

- ▼選挙人名簿登録基準日・登録日／4月14日(月)
- ▼告示日・立候補届出日／4月15日(火) 8時30分～17時
- ▼選挙期日(投票日)／4月20日(日)
- ▼投票所・時間／町内28箇所 7時～20時
- ▼開票所・時間／町中央公民館大会議室(2階) 21時～

●今回の選挙で投票できる方●

- 投票するには選挙人名簿に登録されていなければなりません。
選挙人名簿には、投票日現在で満20歳以上の日本国民であり、高島町に登録基準日(4月14日)の時点で引き続き3か月以上住所を有する方が登録されます。(以下の①と②の条件を満たす方)
 - ①年齢／4月20日現在で満20歳以上(平成6年4月21日以前に生まれた方)
 - ②住所／高島町に居住していること
- ※転入した場合は、1月14日までに

●選挙人名簿の縦覧●

転入届を済ませていて、引き続き居住していることが必要です。
※投票日の前日(4月19日)までに町外に転出した場合は、投票ができません。

●4月4日以降に町内で引越しをした方は前住所地の投票所で●

4月4日から投票日までに、町内で引越をした方は、前住所地の投票所での投票となりますので、間違わぬようご注意ください。また、投票所入場券も前の住所地に郵送されますのでご確認ください。

●選挙公報が発行されます●

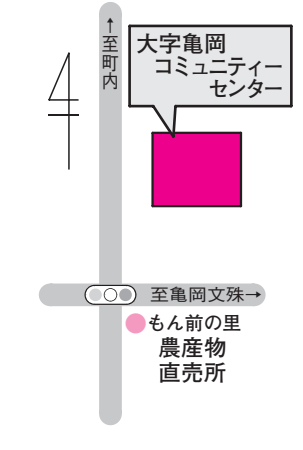
高島町長選挙の候補者の氏名・経歴・政見等を掲載した選挙公報が発行されます。区長を通じて各家庭に配布する

●陣中見舞いに酒などを持って行くとは公選法違反になります●

公職選挙法により、選挙運動期間中に飲食物(酒、ジュース、料理など)を提供することは、候補者・運動員に限らずすべての人にその名目がどうであれ禁止されています。
私たちの意思が正しく政治に反映されるように、選挙のルールを守り、正しい選挙権を行使しましょう。

●第15投票所(旧亀岡公民館)の場所が変わりました●

第15投票区投票所(旧亀岡公民館)は新築移転により、場所が変更となっています。名称も大字亀岡コミュニティセンターとなりますので、お間違えのないようご注意ください。



投票日に投票できない方は期日前投票を!!

投票日当日に仕事、行事、外出などで投票ができない方は、期日前投票をご活用ください。

- 高島町役場期日前投票所(役場1階第5会議室)
- ▼期 間／4月16日(水)～19日(土)
- ▼時 間／8時30分～20時
- ▼持ち物／投票所入場券
- ※投票所入場券が届いていない場合は、投票時に係員に伝えてください。

※指定病院等(町内では公立高島病院・まほろば荘・たかはた荘・はとみね荘)に入院等をしている方は、施設内での不在者投票が可能ですので、施設側に直接申し出てください。

▼お問い合わせ／
高島町選挙管理委員会事務局
役場第6会議室(1階)
☎523154



高 畠中学校(仮称)の制服で卒業

3月18日(火)、町内の小学校で卒業式が行われ、228人が母校を巣立ちました。

このうち高畠小学校では、島津校長が6年生86人に卒業証書を手渡しました。また、和田小学校では、安部校長が6年生32人に卒業証書を手渡し、卒業生は、恩師や保護者、在校生に祝福され、未来への希望と6年間の思い出を胸に、笑顔と涙で新たな一歩を踏み出しました。

小 さな親切にありがとう

2月22日(土)、平成26年高畠「小さな親切」実行章の授与式が行われました。

【実行章受章者 個人】

いがらしたくみ 五十嵐拓海(一中2年)、 たかはしたくみ 高橋拓海(一中2年)

【実行章受章者 団体】

町立屋代小学校ボランティア委員会、町立屋代小学校4年生・5年生、町立第三中学校生徒会、町立第四中学校ソフトボール部



新 たに3商品が加わりました



2月18日(火)開催された、たかはたブランド審査会において、(有)後藤屋の「後藤屋農園バジルのジェノベーゼソース」と(株)セゾンファクトリーの「秋・ピオーネ山形生葡萄のジャム」、「高畠大根ノンオイルドレッシング」の3商品が新規に認証され、2月25日(火)、たかはたブランド認証書交付式が執り行われました。

ニホンザル被害対策研修会開催



2月26日(水)、町文化ホールまほらにおいて、ニホンザル被害対策研修会が山形、宮城、福島3県のニホンザル被害対策関係者約150名出席のもと開催されました。研修会では、山形大学農学部江成広斗准教授が講師となり、サル被害対策は地域の実情に合わせて行っていくことが大切であることを強調しました。



三 年間の思い出を胸に

3月16日(日)、町内の各中学校で卒業式が行われ、248人が母校を巣立ちました。

このうち第一中学校では、恩師や保護者、在校生が見守る中、和田校長から卒業証書が手渡されました。

式では合唱も披露され、卒業生は最後のハーモニーを響かせ、中学校生活3年間の思い出を胸に共に過ごした学びやを後にしました。



ひろすけ童話の感想コンクール

ひろすけ童話を題材にした、第24回ひろすけ童話感想文・感想画全国コンクールの表彰式が、3月1日(土)、浜田広介記念館で開催されました。

全国から寄せられた作品2,060点の中から、部門ごとに高畠町長賞など各賞が選ばれ、受賞者・受賞団体が表彰されました。

受賞されたみなさん、誠におめでとうございます。ぜひ来年も素晴らしい作品をお寄せください。



陸 自・県警スペシャルコンサート

3月2日(日)、陸上自衛隊第6音楽隊と山形県警察音楽隊による「地域ふれあいスペシャルジョイントコンサート」が、町文化ホールまほらで行われました。

ステージでは、山形県警察音楽隊による「Gメン'75のテーマ」や「太陽にほえろ」、陸上自衛隊第6音楽隊による「勝利のファンファーレ」などの曲が演奏されました。

また、合同演奏やステージドリルも披露され、会場満員となった観客は、すばらしい演奏に聴き入っていました。

災 害時のボランティアセンター協定締結



2月25日(火)、町と(社)高畠町社会福祉協議会は、大規模災害が発生した時に、災害ボランティアの受入れなどを行うための「災害時におけるボランティアセンター設置及び運営等に関する協定」を締結しました。

高畠財産区管理委員に新たに選任されました

財産区有地の巡視・調査・管理および財産区の財産・基金等の運営を担います。



澁江正光氏
(幸町三)